

赤野井町地区 地区計画計画区域内の 開発行為に関する留意事項等について

守山市 都市計画課

開発行為における留意事項等

①当該地区計画区域内の河川の流下能力について

- ・地区計画書の土地利用の方針に記載のとおり、開発面積に応じて、河川の流下能力の検証を行い、検証結果に基づき、必要な調整機能を設置するよう計画して下さい。

②宅盤の高さについて

- ・守山市防災マップをご確認いただき、地震や洪水の危険性に対する認識を深めていただくとともに、宅盤の高さについては、浸水被害を受けないよう設計していただくなど「安全・安心のまちづくり」にご協力をお願いします。
- ・守山市防災マップの他にも、滋賀県防災情報マップを確認いただき、「琵琶湖洪水浸水想定区域図」や、「野洲川下流の浸水想定区域図」等も併せて確認をお願いします。

赤野井町地区地区計画区域

各検討点流下能力計算書（平成 30 年現在）

資料① 検討点 1 流下能力計算書（ネックポイント）

※計算時は、当該合成粗度係数を活用のこと！

資料② 区域内形態図

資料③ 100 倍流域図および検討点位置図

守山市 都市計画課

現況流下能力計算書 【 検討点 1 】

測点	NO.01	ネックポイント
場所名	検討点1	

Manning の 公式

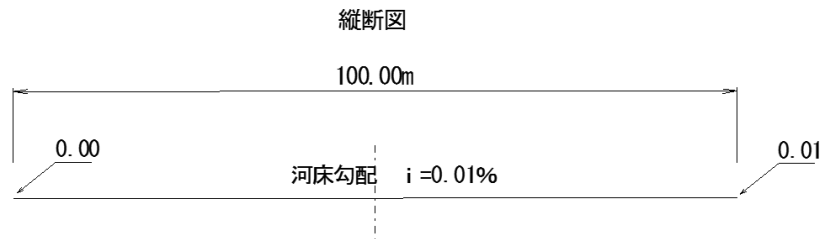
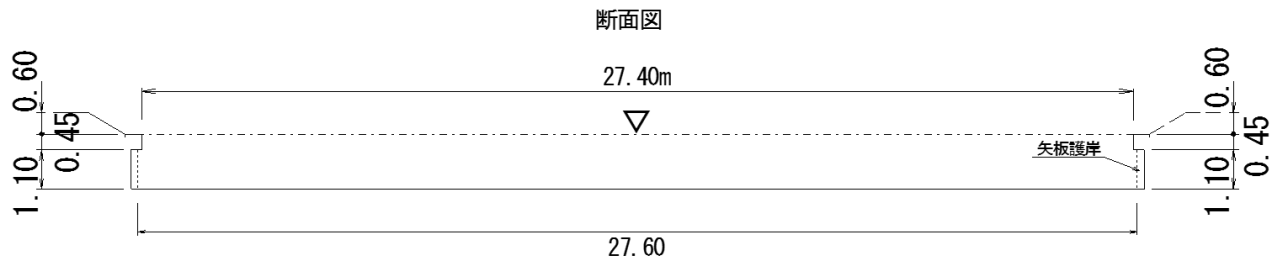
平均流速 $V=1/n \times R^{2/3} \times I^{1/2}$ (m/sec)

通水量 $Q=S \times V$ (m3/sec)

S : 流水断面積 = 42.690 (m ²)	n : 粗度係数 = 0.028
P : 潤 辺 = 30.900 (m)	1/n = 35.714
R : S / P (径深) = 1.382 (m)	I : 河床勾配 = 1/ 10000.0
$R^{2/3}$ = 1.241	$I^{1/2}$ = 0.010

平均流速 $V = 1/n \times R^{2/3} \times I^{1/2}$
 $= 35.714 \times 1.241 \times 0.010 = 0.443$ (m/sec)

通水量 $Q = S \times V$
 $= 42.690 \times 0.443 = 18.912$ (m3/sec)



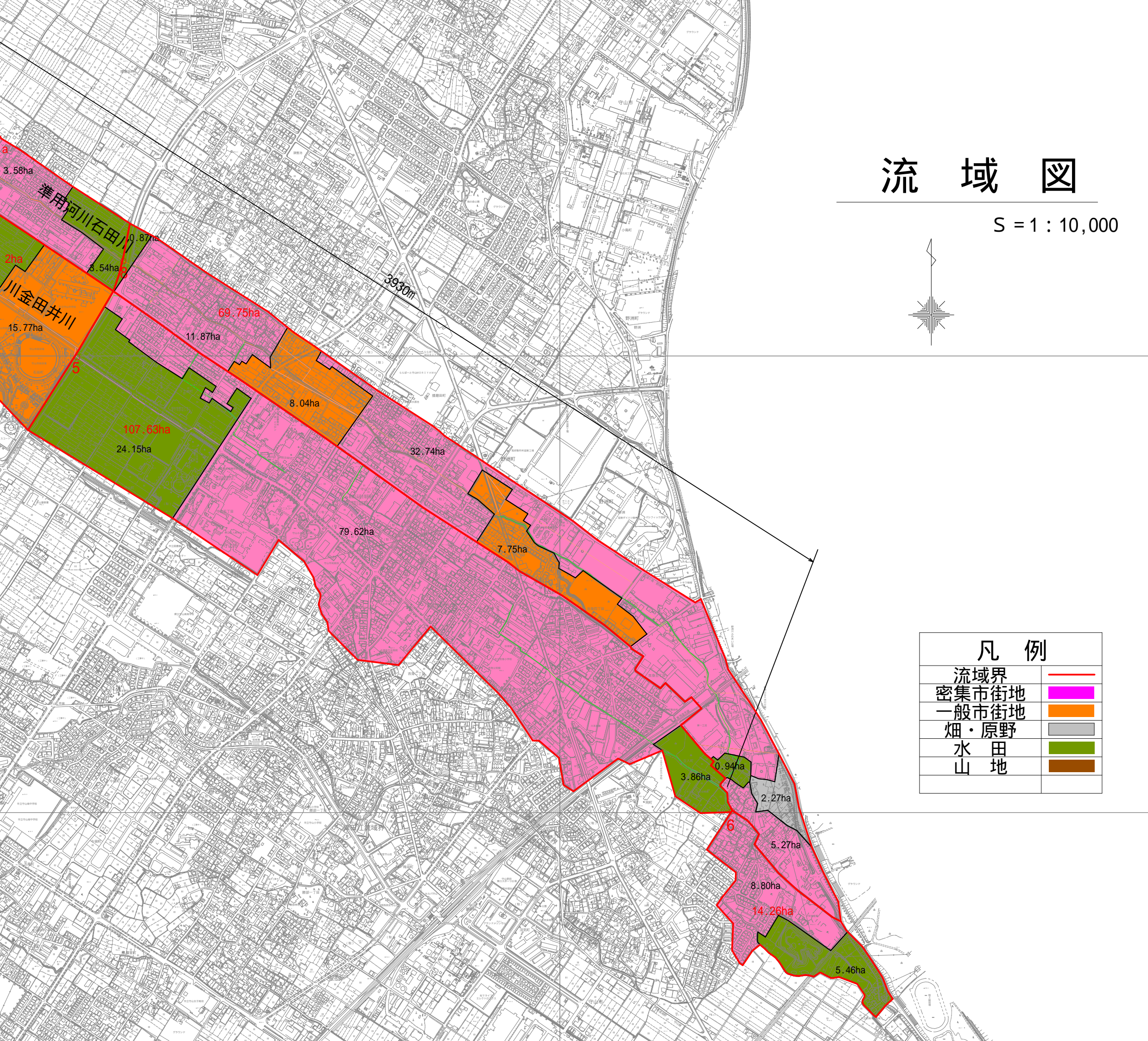
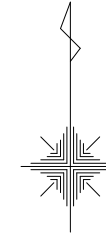
$S = 27.4 \times 0.45 + 27.6 \times 1.1 = 42.690$ m²

$P = 27.60 + (1.10 + 0.10 + 0.45) \times 2 = 30.900$ m

合成粗度係数= 0.028

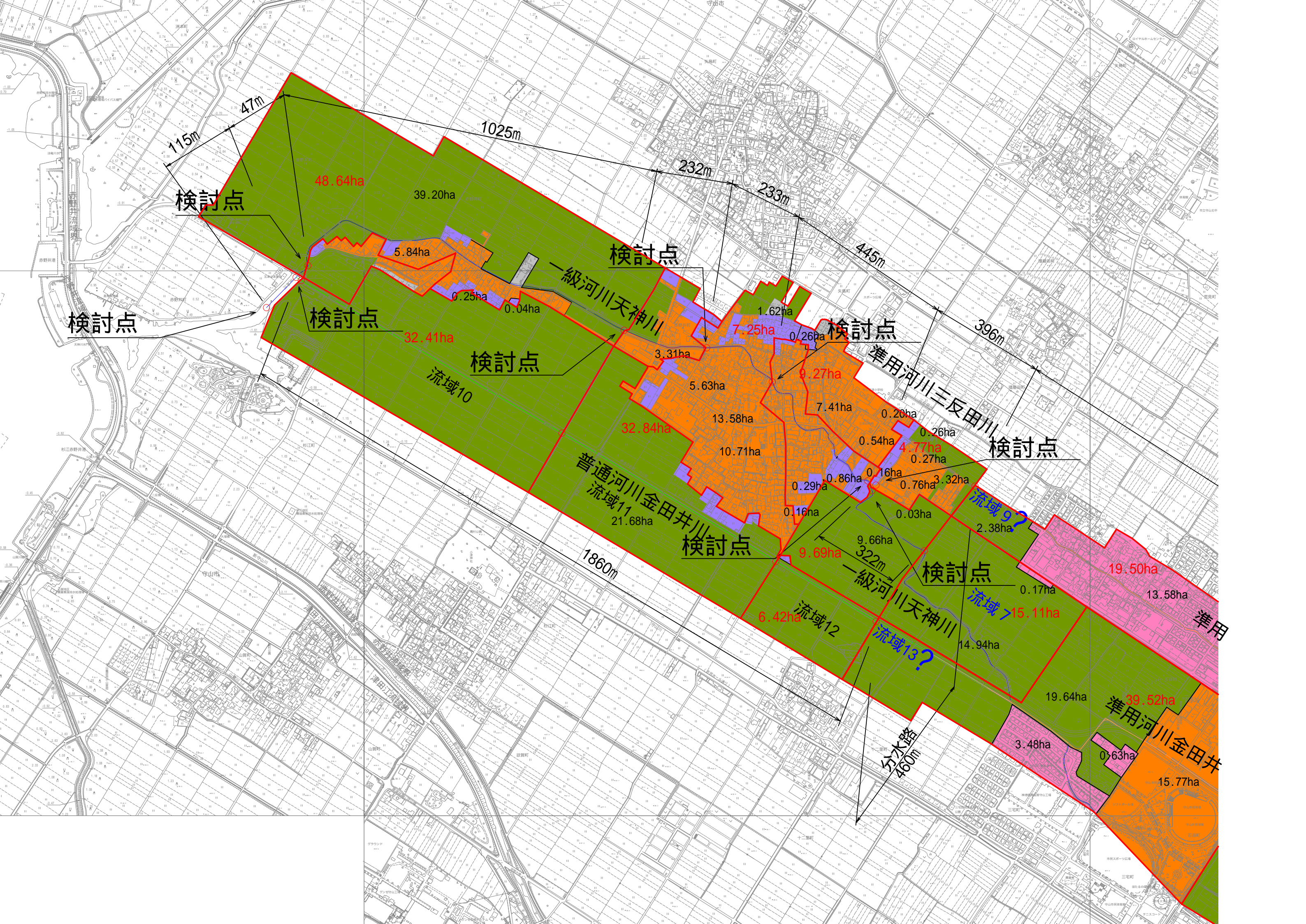
流域図

S = 1 : 10,000



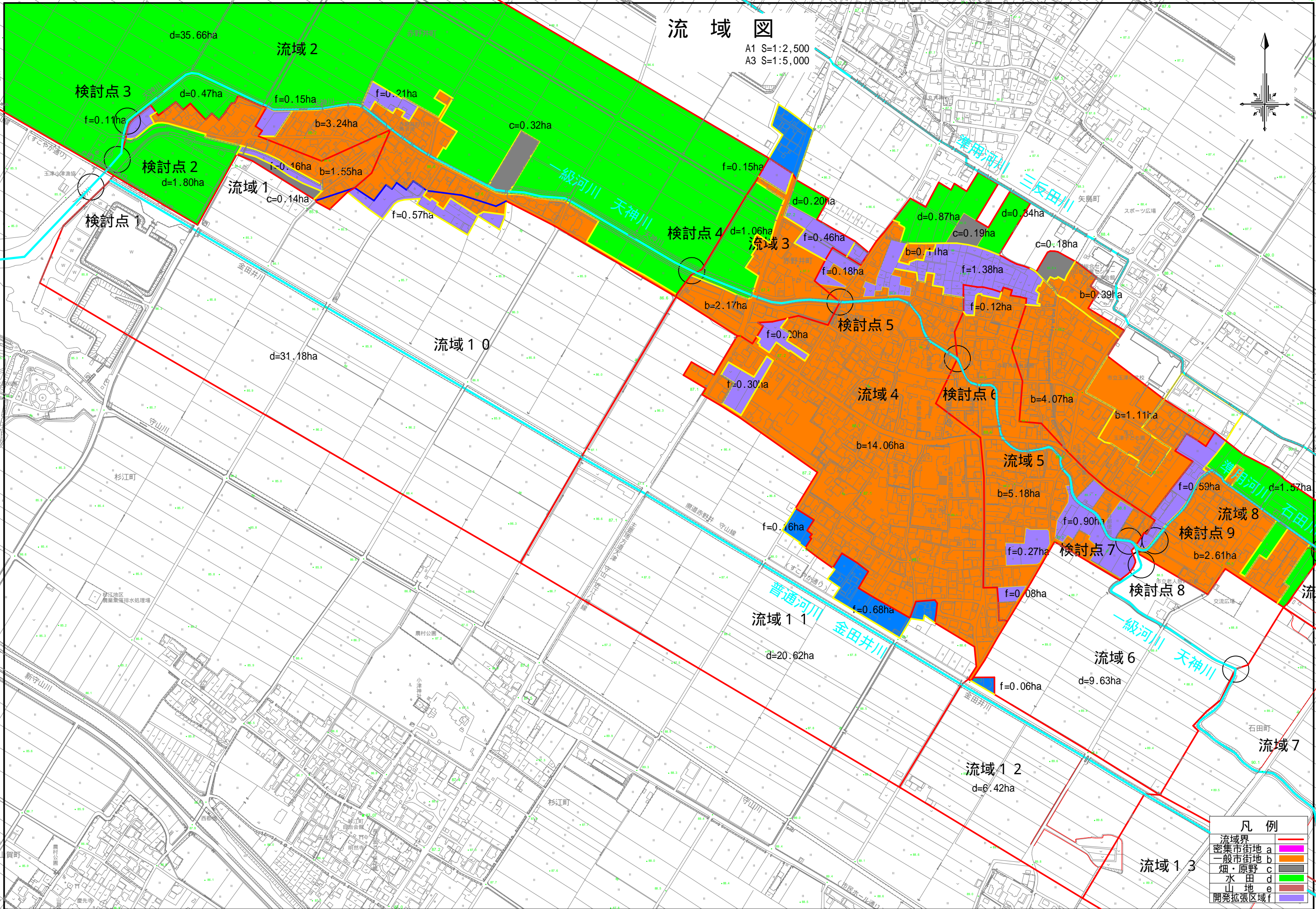
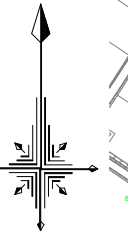
凡例

流域界	—
密集市街地	■
一般市街地	■
畑・原野	■
水田	■
山地	■



流域図

A1 S=1:2,500
A3 S=1:5,000



凡例	
流域界	— (Red line)
密集市街地	a (Pink)
一般市街地	b (Orange)
畑・原野	c (Green)
水田	d (Light Green)
山地	e (Brown)
開発拡張区域	f (Purple)